

第八回荒川区区政改革懇談会

グループ討議会議録：真紅

【日時】

1月19日(木) 19:30~21:30

【場所】

荒川区役所 議員待遇者室

【次第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：こうなって欲しいまちの姿や課題、対応方向を話し合おう

ステップ2：提言案の内容について話し合おう

ステップ4：その他

ステップ1：はじめに

コンサルタントより、前回の話し合いの内容確認と2月5日の最終報告会の説明がなされた。

ステップ2：提言案の内容について話し合おう

コンサルタントより、「基本構想策定に向けた提言(案)」が委員に配布された。その内容を基に全体的な意見を伺い、今回の検討の進め方を確認した。

- 未来の全体像の中の「あらかわ」の下に一行スペースを空けた方が意味が伝わりやすいのではないか。
- P3とP4の将来像はページを逆に入れ替えた方が良い。

ステップ3：こうなって欲しいまちの姿や課題、対応策を話し合おう

「基本構想策定に向けた提言(案)」に関して、内容の追加などを話し合った。

【環境関係】

- P8の「住んでみたいと思えるようなまち」の中に環境・エネルギーや自然(緑・公園)を盛り込んでどうか。

【区政】

- 区や区民、ボランティアなど各主体の役割分担を検討したいので、来年度の課題として取り上げてほしい

【防犯・防災】

- P8の「住んでみたいと思えるようなまち」の中に治安が良いまちも入れたい。「住んでみたいな」の内容には都市基盤の他に防災・防犯の両面が含まれると思う。

- 機械による防犯には限界があると思うが、人々の無関心さが犯罪者の付け込むところである。防犯カメラ等のハード面を整えてから、「人の目」によるソフト面の組み立てを充実していくシステムが必要である。
- 住民の地域への関心がすべてのパワーの源である。コミュニティが強くなれば、セキュリティも強くなる。地域の力を高めることが、公共的なポテンシャルを高めることになる。
- 難しい文章があるので、誰が読んでもわかりやすいものにすれば良いのではないか。
- これまで話し合ってきた内容であり、専門的な内容や用語があっても良い。

【教育・子育て・福祉】

- 南千住や日暮里などの再開発で、荒川区内の人口が増えてきている。子育て中の家族にとっては、教育が充実しているところが住みたい場所である。教育や子育てについても、項目として盛り込みたい。
- 子育ては、(4)共存(ノーマライゼーション)意識が高い支え合いのまち(福祉)に盛り込んでどうか。
- 福祉 = 教育だと思う。大人になってから協力の意識を持つとしても、なかなか難しい。子供のうちからの教育が必要である。
- 子供たちと高齢者が交流できる施設があれば、子供たちは躰や高齢者に対して敬う気持ちが学べるし、高齢者も元気になる。
- 子供の躰などの教育が家庭ではできなくなっているため、高齢者と一緒にいることで、人間として基本的な部分が学べると思う。
- 団塊の世代の人たちが定年退職を迎えるため、地域活動に目を向け始めている。そういう人々を世代間の交流に生かしていきたい。
- 荒川区で行っているお達者ランチ(一人暮らしの高齢者対象の学校給食を活用した会食サービス)はとても良いと思う。一人暮らしでは偏りがちな食事、給食を取ることで栄養のバランスがとれるし、子供たちと交流ができる。
- 未来を担っている子供たちに対する教育はとても大事だと思う。
- 高齢者が子供の面倒を見るような託児所やコミュニティスペースがあれば良い。

【防犯・防災】

- 参考情報(防犯について)に記載してある「防犯養成講座」は町会単位のことだと思う。コミュニティベースがしっかりしていない、コミュニティのエアポケットになっている人も個人で参加できるシステムがあれば良いと思う。
- 消防団の入団募集があると、応募者がかなり多いと聞く。関心を持っている人は多いと思うので、情報がいきわたるようにしてほしい。
- 消防団など、役割がはっきりしているものは参加しやすいが、役割がわかりにくい町会などは弱体化している。コミュニティに属したくない人々をどのように取り込んでいくかが課題である。
- 資源ごみを自転車などで持ち去る人がいるが、資源ごみも財産だと思うので対策が必要である。
- 避難訓練や防災訓練に参加する人は少ない。何か人々を集めるような、楽しくて、遊びの要

素が含まれた材料が必要である。

- 消防団の催しで、子供たちがハシゴに乗れるようにし、ピーポくん(警察のマスコット)グッズを配布したら、とても人が集まった。しかし、お金がかかるので、行政や警察・消防の援助が必要である。機関・所属の違いを超えて、横のつながりを強くして欲しい。
- 避難訓練をバスツアーにして、費用は負担してもらい、バーベキューなどをしながら、訓練をする楽しいイベントにしてみてもどうか。
- 小中学校の頃は、避難訓練は行事に組み込まれていた。今はそういう機会がないが、自ら参加する気になれない。定期的に行なわれ、住民が参加するのが当たり前になっているものがあれば良いと思う。
- 消防団に参加すると公的資格の認定が受けやすいなどの付加価値がある。他の地域活動も何か付加価値があれば、参加したいと思うのではないか。
- 荒川区はお祭りが盛んなので、コミュニティを盛んにするためのツールになりえると思う。

ステップ4：その他

最終報告会の発表者を決定した。

次回日程は1月26日(木)19:30から。

以上